

『広島県病院事業経営計画（平成 21 年度～25 年度）』の取組状況
に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書
【平成 24 年度の評価】

平成 25 年 12 月 4 日
広島県病院経営外部評価委員会
委員長 谷田 一久

1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画（以下「経営計画」という。）」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として平成 22 年 5 月に設置され、今年度は 4 年目になります。本委員会は行政、医学教育、公立病院経営等に精通した各分野の専門家を委員として構成され、公正に、しかも専門的な観点から広島県病院事業を評価しようとするものです。

平成 24 年度の経営計画の取組状況について、今年度は 2 回（7 月、10 月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめましたので、ここに報告いたします。

2 評価結果の総括

平成 24 年度は、平成 23 年度に実施した経営計画の中間見直し後の高い目標を達成するため、更に多くの取組を実施しており、県立 2 病院全体としての計画の達成状況は概ね順調であります。

広島病院は、救急車受入件数の大幅な増加をはじめ、機能強化した分野を中心に様々な成果をあげており、県立病院に期待されている医療機能を発揮しています。一般会計からの繰入金を約 15 億円削減しつつ、5 億円近い経常黒字を計上し、自治体病院として公共性と経済性をしっかり両立させていることを、高く評価しました。

安芸津病院は、地域の医療ニーズの分析等により病院の役割を明確にした上で、具体的な取組を始めています。経営改善の兆しも伺えることから、平成 25 年度の成果に期待したいところです。

病院事業全体の経常損益は繰入金削減にもかかわらず 3 億 2,600 万円余と、3 年連続の黒字を達成しています。これは、中間見直しによる機能強化によって、政策医療の質を落とすことなく、より自立的な病院経営を目指して職員全員で取り組んだ成果であり、高く評価します。この成果を更なる向上につなげるためにも、県全体の医療の最適化を視野に入れ、マネジメントを強化し、課題に積極的に取り組み続けることを期待します。

3 評価結果

(1) 評価基準と評価方法

経営計画に基づき平成 24 年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

(2) 各病院の評価結果

①-1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 24 年度は 12 項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、昨年度より 1 項目増加し、11 項目となりました。

救急やがん医療など県立病院に期待されている医療機能については、平成 23 年度の中間見直しによりこれを強化するとともに、地域医療機関からの電子カルテ閲覧を可能とする「KB ネット」の運用開始、出版による広報活動など、新たな取組にもチャレンジしています。広島病院は県下の医療をリードする病院として様々な領域での情報発信が積極的になされるとともに、ネットワーク化など新たな領域については倫理面でも全体をリードすることを望みます。

これらの様々な取組を通じて、目標指標 11 項目のうち 8 項目を達成するとともに、一般会計からの繰入金金を約 15 億円削減しつつ、5 億円近い経常黒字を計上するなど、自治体病院として公共性と経済性をしっかり両立させていることを高く評価し、経営計画の総合的な進捗状況としては計画どおり概ね順調である（◎）と評価しました。

今後は、昨年度と同様、ほぼ順調である（○）と評価した、安芸津病院との連携をはじめ、マネジメントの強化による更なる取組を期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

①-2 評価結果の内訳
ア評価ごとの項目数

評価区分	H24 ()は H23
評価結果『◎』とした項目	11 項目 (10)
評価結果『○』とした項目	1 項目 (2)
評価結果『△』とした項目	0 項目 (0)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	12 項目

イ取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()は H24	
1 政策医療機能				
1	救急機能の強化	◎	◎(◎)	
2	周産期医療提供体制の強化	◎	◎(◎)	
3	がん診療機能の強化	◎	◎(◎)	
4	医療の安全と質の向上	◎	◎(◎)	
2 医療人材の育成・派遣機能				
5	人材の確保・教育・派遣	◎	◎(○)	
3 患者サービスの向上と経営の効率化				
6	患者サービスの向上	◎	◎(◎)	
7	経営の 効率化	増収対策	◎	◎(◎)
8		費用合理化対策	◎	◎(◎)
9		経営機能の強化	◎	◎(◎)
4 連携強化				
10	地域連携状況等	◎	◎(◎)	
11	(2 病院) 協力状況	○	○(○)	
5 決算、目標指標				
12	収支改善、目標指標	◎	◎(◎)	

総合評価		◎(◎)
------	--	------

②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 24 年度は 10 項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、昨年度より 3 項目増加し、4 項目となりました。

限られた人的資源の中で、救急の二次輪番空白日の対応や近隣病院への医師派遣などに取り組んでおり、また収支目標は一部を除き達成していないものの、改善の兆しも伺えることから、経営計画の総合的な進捗状況としては概ね順調である（○）と評価しました。

今後は、地域の医療ニーズの分析等によって再構築した役割を存分に発揮するため、円滑な在宅療養に向けての退院前訪問や医療講座などの取組に対する地域の高い評価を糧に、職員が一丸となって取り組み、地域包括ケアの医療面における核としての役割を果たしていくことを期待します。

また、医師の確保については期待される機能を発揮するためにも引き続き努力がなされることを望みます。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

②-2 評価結果の内訳
ア評価ごとの項目数

評価区分	H24 ()は H23
評価結果『◎』とした項目	4 項目 (1)
評価結果『○』とした項目	5 項目 (8)
評価結果『△』とした項目	1 項目 (1)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	10 項目

イ取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()は H23	
1 政策医療機能				
1	地域と一体となった医療の提供	○	◎(○)	
2	政策医療の実施	○	◎(○)	
3	医療の安全と質の向上	○	○(○)	
2 医療人材の育成・派遣機能				
4	人材の確保・教育・派遣	◎	◎(○)	
3 患者サービスの向上と経営の効率化				
5	患者サービスの向上	◎	◎(◎)	
6	経営の 効率化	増収対策	○	○(○)
7		費用合理化対策	○	○(○)
8		経営機能の強化	○	○(○)
4 連携強化				
9	(2病院) 協力状況	○	○(○)	
5 決算、目標指標				
10	収支改善、目標指標	△	△(△)	
総合評価			○(○)	

広島県病院経営外部評価委員会 委員一覧

(敬称略)

区分	氏名	備考(職名等)
委員長	谷田 一久(※)	(株)ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	河野 修興(※)	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
委員	塩谷 泰一	高松市病院事業管理者
委員	檜谷 義美	(社)広島県医師会副会長
委員	平谷 優子	弁護士
委員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ パートナー (公認会計士)

区分	氏名	備考(職名等)
オブザーバー	大濱 紘三(※)	広島県病院事業管理者

※ 経営計画策定時の委員

広島県病院経営外部評価委員会 平成25年度議事一覧

- 第1回〔平成25年7月26日(金) 於:広島県庁〕
 - (1) 平成24年度の取組状況について
 - (2) 次期経営計画について

- 第2回〔平成25年10月28日(月) 於:広島県庁〕
 - (1) 平成24年度の取組状況の評価取りまとめについて
 - (2) 次期経営計画について